

発行 (社)日本経営士会 千葉支部 <http://keieishi-chiba.org/>
 支部長 西村 豊 〒275-0022 習志野市香澄5丁目1-17
 事務局 副支部長 鈴木伸一 編集者 中野周行

平成24年11月30日発行

第92号

TEL 047-341-6772 FAX 047-341-6772

リーマンショック以降、毎月大震災による原発事故に端を欲する電力問題、タイ洪水による現地日本工場での多大な被害、李明博大統領の竹島上陸による韓国との政治軋轢、尖閣問題での中国内での日本企業への暴動、デモ、不買運動等、日本企業にとって“大きな試練”が幾重にも重なっており、負のスパイラルから抜け出せない状況が依然として続いています。もはや企業単独では解決策を見出すのが困難な状況であり強力な政治指導力を必要としています。来年こそは強い政治の実現を期待してやみません。

千葉支部 忘年会開催案内《12月15日(土) PM17:00~》

千葉支部の忘年会を下記要領で執り行います。会員の皆様、ふるってご参加ください。

当日は15:00から、支部各研究会の報告、新入会員のご紹介等もごさいます。こちらにもぜひご参加願います。

尚、忘年会の参加可否に関してはメール、もしくは本支部報最終項の忘年会の参加可否のフォームに記載の上、FAXにてお知らせください。

忘年会日時

平成24年12月15日(土) 17:00~18:30

忘年会場所

居酒屋 天狗 電話:047-425-1268
 (JR 船橋駅南口より徒歩5分)
 船橋市本町4丁目1-15 快美壺番館2階

参加申し込み期限

12月10日(月)までに下記宛先までご連絡ください。

参加申し込み先(申し込み期限 12月10日)

鈴木伸一会員まで、下記のいずれかの方法でお知らせください。

1. メール shin_suzuki@nifty.com
2. FAX 04-7133-1303

(本支部報最終面の申込書にてお知らせください。)



第46回 経営士全国研究会議・埼玉（熊谷）大会

平成24年度の「第46回経営士全国研究会議」は、埼玉県熊谷市において開催されました。今年の研究会議は、埼玉県の全面的な後援を受けるとともに、当日は上田知事に直々にご臨席いただき、パネルディスカッションや懇親会の場などで、参加者の皆様と交流していただきました。

また、株式会社パソナ 取締役副会長 大瀧守彦氏による『グローバルカンパニーの価値経営』と題し、以下のテーマでの講演も執り行われました。

- メインテーマ 「日本企業・多国籍企業に勤めて……」
サブテーマ ① 社会の問題解決と事業創出「パソナグループ/KCJ group について」
② 倫理・価値経営「ジョンソン・エンド・ジョンソンの our Credo について」

『ビジネス イノベーションアワード 2012』では、上田清司埼玉県知事に『埼玉が日本を再生する』といった題での特別講演をしていただき、その後、表彰式が実施されました。千葉支部から推薦の鍋店株式会社が見事に会長賞を授与されました。

同社は、創業300年を超える老舗の酒蔵。日本酒離れの危機感から独自に“仁勇祭り”をスタート。その後、同業者の協力と神崎町の支援で町ぐるみのイベントに発展。4万人の集客で地域の活性化に貢献したことを評価され受賞に至りました。

千葉支部としては2年連続の受賞となりました。3年連続受賞へ向けて頑張りましょう！

その他、女性フォーラムでは「女性に必要なコミュニケーションとは」と題し、コミュニケーションに関わるキーワードを議題にチームで討議がなされました。また、特別研究会議では「経営士と大学の交流」「産学協同事業の支援」を目的に3つの「専門部会ディスカッション」が行われました。

以上



能楽とオペラの共演 in 夷隅

“能楽とオペラの協演in夷隅” —ご縁がご縁を呼び込んだ感動のコラボレーション

日本経営士会千葉支部 副支部長 山田 一

千葉支部では、地域貢献・町おこし活動にも力を注いでいます。その一環として、夷隅人車軌道開業百周年「能楽とオペラの協演 in 夷隅」と題した催しを、いすみ鉄道主催のもと、いすみ市、および、いすみ市教育委員会の協力を得、10月6日に開催いたしました。今後とも継続的な活動を推進し、成果につなげていきたいと思っております。

千葉支部では、千葉県経営者協会と共催で、いすみ鉄道鳥塚社長に講演をお願いしたことから、いすみ鉄道にご縁を作ることができました。また、昨年、千葉支部定時報告会(総会)での特別講演にシテ方観世流橋岡久太郎九世をお招きしたことで、ご縁が出来ました。報告会後の懇親会で来賓としてお招きした鳥塚社長、そして橋岡九世と、夷隅地域で、いすみ鉄道を中心とした“薪能”をやってみませんかとの呼び掛けに、ご両人とも即座に「面白いですね、やってみましょう」という快諾を頂きました。その後、一年かけて大多喜町を中心に、町長始め関係者への打診を積み重ね、地域をいすみ市まで広げ、この“能楽とオペラの協演in夷隅”の公演に漕ぎつけることができました。

私たちはコンサルタント集団であり、興行師ではありません。あくまでも地域に根差した貢献活動を主眼とした活動に注力して来ました。その結果、オペラ歌手の村上敏明氏からも賛同を頂き、いすみ鉄道の前々身の夷隅人車軌道設立から100年に当たる記念の一環に組み込まれ、実現しました。

(社)日本経営士会も後援の一員として名前を連ねさせていただくことができました。

当日は、一体、何人の方が来られるのか心配でしたが、結果は400名を越す多くの方がお集まりくださいました。大好評のうちに幕を閉じることが出来たのは、一重に、鳥塚社長、橋岡九世、オペラ歌手の村上氏、いすみ鉄道応援団掛須団長、そして、精密画家で、いすみ鉄道国吉駅観光駅長 栗原氏等のご尽力の賜物であると思います。更には、地域の大原高校、岬高校、勝浦若潮高校から有志として参加された高校生、地元の合唱団の方たちの熱心な協力があつたことは言うに及びません。

公演の内容

期日：10月6日(土) 午後1時30分開演

場所：いすみ市大原文化センター大ホール

～進行表～

第1部 夷隅郡市高校生による能楽	連吟「鶴亀」
第2部 オペラ歌手 村上敏明による演奏	テノール：村上敏明 ピアノ：江澤隆行
第3部 能楽 囃子「高砂」	

シテ：九世 橋岡久太郎

笛：成田寛人 小鼓：鳥山直也 大鼓：内田輝幸

地謡：坪内比呂之 橋岡伸明 松原章

第4部 能とオペラの共演

オペラ「トスカ」より“星は光りぬ” 作曲:プッチーニ

九世 橋岡久太郎 (シテ方)

カヴァラドッシ: 村上敏明(テノール)

看守: 石田岳士(バス)

村上敏明氏の声量豊かな声がホール一杯にこだまし、その歌に引き込まれ、ピアニスト江澤隆行氏のピアノに酔い、そして橋岡久太郎九世の舞には観客を幽玄の世界に誘い込まれていくような感じさえ受けました。公演が終わって会場から出て来られた方たちの、満足された顔、そして感激が覚めやらずといった感じで、是非、また来年も開催して頂きたいという声があちこちから聞こえてきました。

今回のこのイベントを地域貢献活動のスタートとして、如何にしたら地域振興にお役立ちできるかを考えていきたいと思った次第です。



能楽とオペラの共演 in 夷隅(アンケート調査分析)

今回開催された「能楽とオペラの共演 in 夷隅」では、来客の皆様アンケートを実施いたしました。目的は、今回の取り組みの効果測定、課題等を明確にし、今後の取り組みの検討材料としていただくことです。アンケート調査分析は、当日参加した経営士会の協力メンバーのコメントをもとに、山田一副支部長に取り纏めいただき、主催者である“いすみ鉄道”ならびに後援者である“いすみ市 大多喜町” “いすみ市教育委員会”に提出されました。以下、その抜粋を記載いたします。

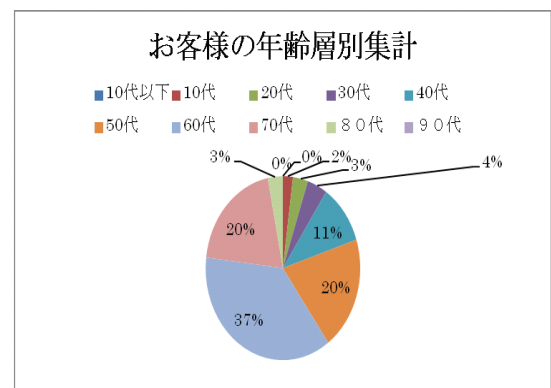
『能楽とオペラの共演 in 夷隅』 調査報告書 (平成24年10月6日)

～検討内容～

I. 総合評価 II. 問題点 III. 課題

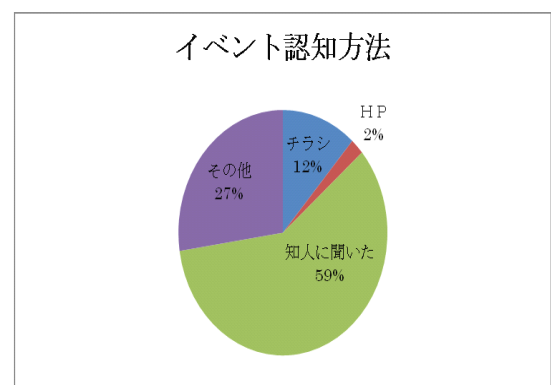
I. 総合評価

来場された方たちからのアンケート結果では、大変好評であり来年度以降も是非、続けて欲しいという要望が多くありました。“能楽とオペラの協演”は、おそらく全国で初めての試みであったかと思います。この企画を今後、いすみ市、大多喜町とタイアップした夷隅地域を特徴づける方向にもっていきたいものです。特に、夷隅地域での少子高齢化の中にあつて、来場された方たちの年齢層が60代を中心に40代、50代といった方が本物の芸術に触れようとするチャレンジ精神には敬服すると同時に、まだまだ若い気持ちでおられる証拠といえましょう。高齢化社会の中にあつて、今後とも社会に出て生活をしていける地域の環境作りも大切であろうと判断致しました。



II. 問題点

アンケートから判断するに、地元での宣伝が薄かった感じがします。口コミ、紹介といったケースで来場された方が多かったようで、地域を巻き込んでの今後の展開を考えますと、地域内での拠点となるべき団体へ早くからのPRを心掛ける必要があります。更に、今後、このイベントを継続するに当たって発生する費用と収益のバランスも検討していかなければならない重要項目かと考えます。



III. 課題

初回である本公演は、アンケートからも非常に大成功であったと判断いたします。町おこしの視点から考えて行きますと、このイベントを継続していき、いすみ市、大多喜町と一緒に活動をしていくべきでしょう。そのために、今後どのようにしていったらよいのかを関係者間で煮詰めていくべきかと思ひます。

会議・研修会・セミナー開催報告

5月 環境経営月例研修会実施報告

報告者：日本経営士会千葉支部 副支部長 林 久雄

開催日時：平成24年5月26日(土)13:55～15:00

開催場所：船橋市中央公民館(第6会議室)

講師：島川 憲夫 会員(神奈川県会)

出席者：新見健司、山下恭司、鶴岡義明、西村豊、榎田國男、中嶋清介、逆井甚一郎、林久雄

平成24年4月28日(土)、平成24年度千葉支部 環境経営研究会 第1回研修会が行われたが、その研修課題の一つである“BCP(事業継続計画)”について島川会員より第2回目の説明があった。

内容は、具体的対応として事例を挙げ、更に企画・実行に当たっての実務について解説があった。

今回の主な資料は

- | | |
|-----------------|----------|
| 1)BCP事前対策メニュー | 一覧表 |
| 2)BCP状況チェックリスト | |
| 3)中小企業BCP策定運用指針 | (第1版の改訂) |
| 4)同上 | (第2版) |
| 5)事業継続計画書項目別様式 | (1～5) |

BCPは大規模災害発生後、「企業、特に中小企業は、事業活動をいかに継続していくか」、即ちサプライチェーンはその一つであり、これを中止するか継続するかは当該企業のみならず、元請け側からみても大きな問題となる。同様な問題が、連鎖拡大していく危険性も孕んでいる。

研修時間は1時間5分に縮小されたが、内容は今後も十分想定される大災害時の復興マネジメントであり、経営コンサルタントにとってこれからの商材となるため、今後の環境経営研修でも取り上げていく考えである。

6月 環境経営士フォローアップ研修実施報告

～サントリー府中工場現場研修～ 報告書

報告者：日本経営士会千葉支部副支部長 林 久雄

日時：平成24年6月6日(水)13:30～15:00

訪問先：サントリー武蔵野ビール工場(東京都府中市矢崎町3-1)

参加者：20名

工場の案内係より工場全体及び見学コースと注意事項の説明あり。ビールづくりの工程に沿って見学。

ビールは「材料、水そして人」がつくる。サントリーはこの3つにとことん拘っている。材料について、ビールは約90%は水からできている。サントリーでは地下深くから汲み上げた良質な天然水100%を仕込んでいる。次に麦粒のそろった良質の大麦を使い、麦芽の「発芽状態」が均一なものを厳選し麦本来のうまみを引き出している。ホップは欧米から輸入しているが、専門技術者が産地に出向き品質の良いものを厳選、輸送中は低温管理を徹底することでホップの新鮮な香りや苦みを保っているという。

ビール製造の工程は製麦、仕込、発酵、貯酒、ろ過、缶・樽詰の6工程である。そして水と生きるSUNTORYでは企業理念として[人と自然と響きあう]を挙げ企業活動を広く社会と共有するうえで人と社会、自然との共生の実現をめざしている。

一方、清涼飲料や健康食品を取り扱う関係で環境への配慮が欠かせない。ISO 14001 の環境マネジメントにより継続的な改善を進めると同時に地域社会との調和をはかっている。地球温暖化防止(CO2 排出量削減、省エネルギー、廃熱利用、自然エネルギーの利用)汚染防止(大気汚染、水質汚濁防止、土壌・地下水汚染の防止)、資源の循環利用(工程用水のリサイクル、雨水の利用、副産物・廃棄物の100%再資源化)及び資源の保全(水資源の保全、工場の緑化、自然保護)の4つの環境項目を進めている。

ゴミの分別収集は36種類に分けておりそれぞれ収集箱を設けている(因みに東京都は7種類)。これらは全て再利用されているという。工場全体も整理・整頓が行きわたり清潔な感じのある工場であった。

なお、環境経営士認定者の次回の生産工場現場見学会は10月行われる予定

6月 第3回コンサルティング研究会実施報告

平成24年度第3回コンサルティング研究会議事録

報告者：日本経営士会千葉支部 幹事 金子 昌夫

開催日時：平成24年6月23日(土)15:30～18:00

開催場所：千葉市生涯学習センター3F 小会議室

参加者：若月英司、大久保 篤、岩野邦久、児玉充晴、金子昌夫

議題及び内容：

1. 対外への活動(千葉県経営者協会の連携について)
 - ・中小企業委員会に仮名称「中小企業社長啓発ゼミナール」を提案する。
 - ・H25年度に向けて経営者協会、商工会議所等の開催されているセミナーをベンチマーキングし他との差別化した提案書を7月末までに作成する。
 - ・キーワード は、「・・・間違い」、「参加者全員」、「コンサルタントチームによる集中学習」「適用成果 の発表」次回研究会まで案を作成。
2. 「平成24年度会計セミナー」中小企業基盤整備機構から受託活動について
3. 新メンバーの紹介 児玉 充晴さん
中部大学 経営情報学部 教授、京都大学 工学研究科 非常勤講師

専門は、技術の換金学、経営心理学、営業心理学、経営管理手法、情報化時代の組織学……等、経営者の人生相談や社員の人事への適用等と、多彩な分野で、平成23年はのべ91回の出張講演を実施。

今回、現在愛知県を中心に活動をしており、千葉県での社会貢献活動を行いたいと参加

7月 第4回コンサルティング研究会実施報告

平成24年度第4回コンサルティング研究会議事録

報告者：日本経営士会千葉支部 幹事 金子 昌夫

開催日時：平成24年7月8日(日)15:30～18:00

開催場所：千葉市生涯学習センター3F 小会議室

参加者：若月英司、大久保 篤、岩野邦久、林 堯夫、児玉充晴、金子昌夫

議題及び内容：

1. 対外への活動(千葉県経営者協会の連携について)

他との差別した提案書(案)を作成する。

経営者協会への仮名称「中小企業社長啓発ゼミナール」を提案書(案)について協議する。

児玉さん作成の提案A案からD案の内容について

A案 「間違いを直せば業績は改善する」

B案 「情報化時代の業績向上法」

C案 「上手な後継体制の構築法」

D案 「マネジメント力向上」

普遍性が高く、新規性のあるネタで無いと、経営者は目を引かない。

人気のセミナーは「事業継承」関連では。

→次回(7月28日)までに最終案を作成し、提案書を確定する。

2. 組織営業の体制整備については次回。

3. その他

千葉県経営者協会 人事 新任 事務局次長 三橋 茂樹 (7/20～)

7月 MPP 研究会 実施報告

平成 24 年度第 6 回コンサルティング研究会議事録

報告者：日本経営士会千葉支部 幹事 中嶋 清介

開催日時： 平成 22 年 7 月 28 日 15:00～18:00

開催場所： 船橋中央公民館 第八集会室

参加者： 鶴岡義明、西村豊、林久雄、高野充昭、逆井甚一郎、鈴木伸一、中嶋清介

使用した MPP ケース：

ケースコード 21-023-124

ケーステーマ 「道の駅 物産館-レストランの採算計画手順」

8月 第 6 回コンサルティング研究会実施報告

平成 24 年度第 6 回コンサルティング研究会議事録

報告者：日本経営士会千葉支部 幹事 大久保 篤

開催日時： 平成24年8月25日(土)15:30～18:00

開催場所： 千葉市生涯学習センターB1F アアウンスブース

参加者： 林 堯夫、児玉充晴、稲村和彦、大久保 篤

議題及び内容：

1. 「中小企業社長啓発ゼミナール」の提案書提出(若月、児玉、大久保会員)

前回コンサルティング研究会で審議・決定した提案書により下記3か所でプレゼンテーションを実施してゼミナールの開催を要望した。

7月30日千葉県経営者協会 大矢部長、小山部長、三橋次長出席

7月30日千葉商工会議所 産業振興課 加藤課長出席

7月30日千葉県商工会議所連合会 事務局 中島次長出席

2. 8月1日開催のベンチャークラブ ビジネスプラン発表会に出席(大久保会員)

下記3社と名刺交換・交流を実施した(経営士会千葉支部はベンチャークラブのサポート会員)。

(株)ファソテック、(有)鎌野、(株)ケイティーバイオ

3. 組織営業への体制整備について(林会員)

会社の営業組織システムとマネジメント風土の弱点を抽出する選択回答式のアンケート調査を実施・解析することでオペレーションとイノベーション能力を高め、生産財営業力を強化するメソッドを説明した。

3社に実施済みで報告書を提出し好評を得ている

9月 第7回コンサルティング研究会実施報告

平成24年度第7回コンサルティング研究会議事録

報告者：日本経営士会千葉支部 幹事 金子 昌夫

平成24年度第7回コンサルティング研究会

開催日時：平成24年 09月09日(日)15:30～18:00

開催場所：千葉市生涯学習センター 3F 小会議室

参加者：岩野 邦久、林 堯夫、児玉充晴、大久保 篤、金子 昌夫

議題及び内容：

- 1) 伝える技術について(児玉会員)
- 2) 「営業の自動設計法」
- 3) 会社と人の本質を知ることがマネジメントの基本
- 4) 「お客はなぜ会社にお金を払ったのか」の理由の探求が会社研究の基礎になる。
- 5) マネジメントの本質検討の全体像
- 6) 工業化時代の思考を情報化時代に変革させることによる業績向上法の概念
- 7) 営業の構造設計の概念
- 8) ホームページの基本的な考え方
- 9) 営業活動を標準化して構造設計して、営業の自動化を目指すことが重要である。それを進める道具がホームページである。クマデ方式の概念
- 10) 売り方の開発に向けた基本的考え方
- 11) お問い合わせから営業につなげる構造改革法
- 12) 板金加工業におけるダレクトメールの例

2. その他

- 1) コンサル研(経営士会)でも、この道具を活用できるのではないか。検討要。
- 2) 中小企業の困り事と各人の専門性のマッチング。

9月 会員外向け MPP 研修実施報告

～千葉県経営者協会(千葉経協)会員外向け MPP 研修実施報告書～

報告者：日本経営士会千葉支部 幹事 中嶋 清介

開催日時：平成24年9月19日 15:00～18:00

開催場所：千葉県経営者会館研修室 千葉市中央区千葉港 4-3

参加者：会員外参加15名、MPP登録リーダー3名

(MPP登録リーダー：塚本格宥(北日東支部茨城県会)、林久雄(千葉支部)、中嶋清介(千葉支部))

研究したMPP: ケースコード 48-001-086
 ケーステーマ「職場指導者に必要な新しい資質と人間管理能力」

研修課程

1)プロローグ	担当者
1. (社)日本経営士会について	林久雄
2. MPP解説 "	林久雄
3. 意思決定のプロセス	中嶋清介
4. MPP研究のステップ及びプロセス	中嶋清介
2)MPP研究	塚本格宥、林久雄、中嶋清介
3)エピローグ	
企業文化のあり方、他	塚本格宥
講評と取り纏め	塚本格宥、林久雄、中嶋清介

千葉経協での開催は7回目であるが、今回もメンバー全員が初参加なので、研究開始前に日本経営士会及びMPPの紹介とその研究ステップの説明を行なった。開催に当たり、経協よりテーマは、管理職を対象にした「管理職に必要な管理能力向上のための研修」を主体にとの要望もあり、MPPケースは昨年同様の「職場指導者に必要な新しい資質と人間管理能力」とした。このケースはリーダー資質論の二元(PM)理論をケース展開の主題とし、討議する課題は組織での人材の ①人間の資質と能力をどのように考えるべきか ②ジェネレーションギャップへの対処法をどうするか ③部下指導、育成はどうあるべきかについて考えさせるものである。

本ケースへの取り組みは今回で4回目となるが、運用の仕方によっては今の時代のリーダーシップのあり方について、管理職クラスを教育する際の重要な教材になるものと考えた。

今回のMPP研修に当たっての意図したこと

- 1) 第一線監督者・リーダーにとって日常の意思決定は常に最適である事が求められるが、MPPメソッドはそのために有効なツールである事を示したい。
- 2) 今回のケースはリーダー資質論のPM理論をメインに扱っているが、出来れば広くリーダー論を広く考える機会としたい。

研修結果 (参加メンバーのMPP報告書とアンケートから)

- 1) MPPメソッドについては、他社の管理職クラスの人々の意見を十分に聞いたのは良かった、考えて意見を出せたのは良かった、討議の中で意見を引き出す雰囲気が良かったなどがあった。
- 2) ケーステーマについては、他社の自分と同じ管理職の様々な意見を聞いた、リーダーは部下のタメ口(ためぐち・・・相手の通常使用する言葉)を認める等積極的に意見を聞く、上手に褒める、ピクマリオン効果への期待、リーダーは自分の思いを伝える力が重要であると思った。
- 3) 問題点としては、管理者のリーダーシップのスキルアップに活かせるか疑問である、頭では理解できたが現場でのどのように活かせるか解からない、持ち帰って社内で展開は難しい、研修時間が短い等があげられている。・・・今後の展開の参考にして行きたい。

9月 第8回コンサルティング研究会実施報告

平成24年度第7回コンサルティング研究会議事録

報告者：日本経営士会千葉支部 幹事 大久保 篤

開催日時：平成24年9月30日(日)15:30～18:00

開催場所：千葉市生涯学習センター3F 小会議室

参加者：林 堯夫、岩野邦久、児玉充晴、稲村和彦、若月英司、大久保 篤

議題及び内容：

情報化時代のコンサル営業の整理様式と記入例(児玉会員)

前回議題の伝える技術に引き続き、下記項目を討議した。

- 1) コンサル分野の整理
- 2) 実績に基づくお客のタイプ分けと実施内容・効用
- 3) お客のタイプ別の自社のキャッチフレーズ
- 4) キーワード優先順表
- 5) タイプ別の実施プロセスの標準化
- 6) ホームページ作成のための基本検討様式
- 7) ホームページ作成のための基礎データ表
- 8) ホームページの論理構造図
- 9) 実績と事例
- 10) 実際のホームページのイメージ



9月 第9回コンサルティング研究会実施報告

平成24年度第7回コンサルティング研究会議事録

報告者：日本経営士会千葉支部 幹事 金子 昌夫

開催日時：平成24年10月21日(日)15:30~18:00

開催場所：千葉市生涯学習センター3F 第2会議室

参加者：岩野 邦久、児玉 充晴、若月 英司、大久保 篤、稲村 和彦、金子 昌夫

議題及び内容：コンサル研のホームページ作成について項目と担当者を決定。

公式ページ キーワード「企業変革」、「経営士会」、「コンサル」、「支援」、「千葉」**TOPページ(メインページ)**「どんな困りごとの人に何をしらせるか」：各ページの担当者は以下のとおり

- 1) 担当者トヨタ方式による生産方式：若月氏
- 2) 会計のしくみの改善：大久保氏
- 3) 営業人材の育成(生産財)：林氏
- 4) リーダー育成：岩野氏
- 5) ISO9001、ISO14001 取得、フォロー、内部監査員の育成：環境 若月氏、品質 金子
- 6) 事業承継：児玉氏
- 7) ネットによる営業成績の向上：児玉氏
- 8) お客との絆づくりと来店誘導：児玉氏
- 9) 社内の諸制度の構築と見直し：児玉氏
- 10) ロジスティクス：稲村氏
- 11) 品質管理：金子
- 12) 経営改善計画書の作成：大久保

個別のTPOページ(ランディングページ)**各担当者が記載**

- 1) <細かい困りごと>
 - ① →詳細は ※1
 - ② ……
- 2) <実施法のページ>具体的な解決法、取組み 強み
- 3) <具体的な進め方>
- 4) <実例>
- 5) <お客様の声> 創作 → 本人の許可を得る

公式ページの共通点 担当：大久保氏

企業変革推進チームとは

歴史、社会貢献、メンバーとバックメンバー、経営会へのリンク

お問い合わせ

大久保氏のメールアドレス企業経験豊富な頭脳集団

「企業変革推進チーム 千葉」 日本経営士会

10月 月例研修会報告

『経営診断実践講座』開催検討会

報告者：日本経営士会千葉支部 副支部長 山田 一

開催日時：平成24年10月27日(土)15:00~17:30

開催場所：船橋市中央公民館 講師：榊原 貞夫(東京支部)

参加者：新見健司、山下恭司、鶴岡義明、林 久雄、鈴木伸一、西村 豊、金子昌夫、中野周行
大久保 篤、鈴木 宏(ブロック長)、山田 一(講師含む 12名)

平成25年4月に一般社団法人への移行にともない、日本経営士会は、これまでの公益事業、共益事業に加え、収益事業にも力を入れていく必要があります。そのためにも、会員一人一人が経営コンサルタントとしての意識改革、スキルの向上が求められてきます。今回、千葉支部では各研究会合同の新しい取組みとして、「経営診断実践講座」を企画しました。そのために、既に豊富な実績をお持ちの東京支部会員の榊原貞夫氏を講師として招き、診断のフロー、留意点等のお話しをして頂きました。

今後の予定としては榊原氏の指導のもとに千葉県内若しくは都内の千葉県よりのところで診断実績を積む予定にしております。予備段階として私たちが頭の中に入れておかなければならないこと、「経営診断の流れ」を、昨年実施した中野区での診断実施先を例にお話しいただきました。

【経営診断の流れ】

1) 事前調査

①財務諸表、立地調査、競合店調査など ②経営者の経営理念 ③情報をできる限り集める

2) ヒアリング

3) SWOT分析 ①ポジショニング分析など他の手法も活用

②可能な限り詳細に BS法、BW法 など

4) 問題点の抽出

①優先順位 ②緊急度

5) 課題の設定 問題解決のために

6) ドメインの再構築 モノからコトへ

7) 改善案の作成

①諸理論の活用 ②経営者と調整

8) 報告会・報告書

9) 実行計画・実行

①実施段階ではBSCやガントチャート法

②評価、検討、見直し



千葉支部としては、先ず、経営診断の実施を経験することで、会員各自のスキルアップの向上に努めること。次に、チームとしての共同作業を通して、自分の不足している部分を仲間から吸収していくことに力点を置いていくことが必要であろうと思います。

行事のご案内

◇2013年 年初の行事、スケジュール

1月 研修会

日 時 平成25年1月19日(土) 15:00～17:00

場 所 船橋中央公民館 第9集会室

テーマ 印刷業の業態変革推進

講 師 中野周行 会員

急速なデジタル化により印刷業もその業態の変革を迫られています。本研修会では、印刷業野を取巻く環境変化を考察し、いかに時代のトレンドに乗っていくかということ、具体的な事例をもとに説明します。

デジタル化社会の現状とその影響が直撃している印刷業について現場を熟知している講師の講演です。ぜひご参加ください。

2月、3月 研修会

日 時 平成25年2月16日(土) 15:00～17:00

平成25年3月16日(土) 15:00～17:00

場 所 船橋中央公民館

テーマ 印刷業の業態変革推進

講 師 山下恭司 会員・山田 一 会員

従来本部で経営士養成講座が行われてきましたが、一般社団法人化にともない今後は新設された経営士補の養成講座を支部が担当します。

それにともない来年度の実施にむけて準備が必要となっております。カリキュラムの構築や講師の養成・認定などを行う予定です。講師に関しては支部会員に広く門戸を開放いたします。ぜひ経営士補養成講座の更新認定を取得してください。

そのための前準備として、カリキュラムの、参加者募集の方法などの検討を行います。ぜひ経営士会の将来を担う新しい人材育成の場にご参加ください。

(詳細が決定し次第、メーリングリスト、会員向けブログに掲載しご案内いたします)

12月研修会のご案内

日 時 平成23年12月15日(土) 15:00～17:00

場 所 船橋市中央公民館 第9集会室

テーマ 「研究会活動中間報告」

講 師 コンサルティング研究会、農業観光研究会、エコ研究会

本年最後の月例研修会は、支部のコンサルティング研究会と農業観光研究会、エコ研究会の活動報告です。コンサルティング研究会では、社長への提言ということで、(社)千葉県経営者協会、商工会議所を通じて一般企業に向けて、社長、経営層に向けたセミナーを実施しています。また、農業観光研究会では、町おこしの企画運営に関する事例がでてきております。両研究会とも事業化の一步手前まで来ていますので、皆様のご協力をぜひお願いいたします。エコ研究会ではエコピープル、環境経営士の養成などを中心にCESの導入も進めております。これらの活動の報告や、今後の活動について説明していただきます。ご期待ください。

また研修会終了後、懇親会を用意してございますので、こちらも併せてご参加ください。

年末研修会／懇親会(12月) 出席連絡

(社)日本経営士会 千葉支部
総務担当 鈴木伸一 宛

Tel : 090-5446-2808

会員氏名 _____

Fax : 04-7133-1303 出席ご希望の方は**12月10日**までにご連絡願います。

出席を次の通り連絡します。(該当欄に出席は○印、欠席は×印をご記入下さい。)

	研修会／講演会	懇 親 会
平成23年12月15日 出席	参加・不参加	参加・不参加
月例／懇親会		

会場などの急な変更は支部会員向けブログにてお知らせしています。各研修会に出席する際は、支部会員向けブログをご確認の上ご来場ください。 千葉支部会員向けブログ <http://keieishi-chiba-info.sblo.jp/>
メールアドレスを変更した場合は、メールアドレスをお知らせください。